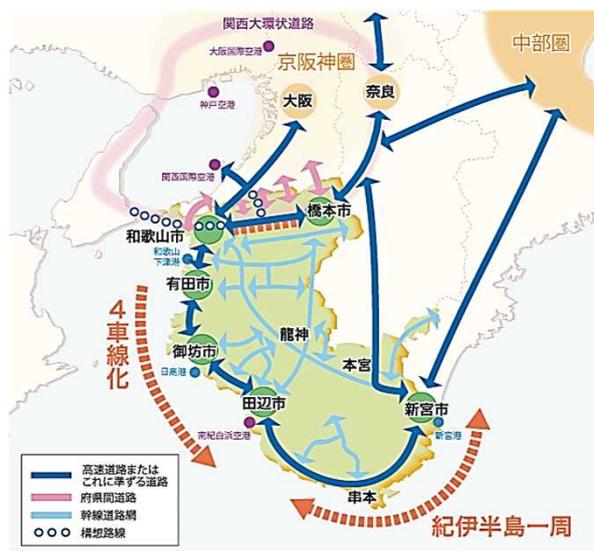


暮らしやすい和歌山

1. 交通ネットワークの充実

近畿自動車道紀勢道線では、現在、有田IC～印南IC間の4車線化事業が進んでいるところです。

また、京奈和自動車道の県内前線などが開通し、現在は「すさみ串本道路」や「新宮紀宝道路」などの整備も進んでいます。



2. 若い時期の充実した暮らし

和歌山と都市圏を比較した場合、月給には差がありますが、家賃や物価指数を考えたとき、和歌山での就職を選択しても若い時期の自分への投資や家庭を築くために必要な貯蓄をする余裕はあります。

また、平均月給は全国平均よりも高く、家賃平均が全国平均よりも低く経済的にも充実した暮らしを実現することができます。

	和歌山	全国平均	東京	大阪
①高校初任給	153,300円	162,200円	172,900円	170,200円
②20～24歳平均月給	221,600円	219,600円	254,900円	236,100円
③30～34歳平均月給	293,200円	281,900円	364,600円	322,800円
④家賃平均月額	39,861円	54,052円	77,174円	53,603円
⑤消費者物価地域差指数	100.0	100.0	104.4	100.0

①②③H29賃金構造基本調査〔企業10人以上〕（厚生労働省）

④H25住宅・土地統計調査（総務省）

⑤H29小売物価調査（総務省）

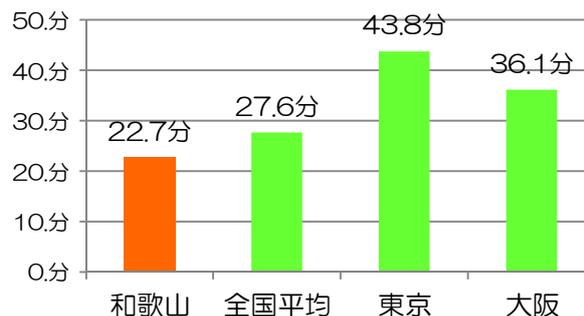


3. 子育て環境が整った暮らし

和歌山で働いた場合、毎日の通勤時間は短く、帰宅時間も早いことから、家族で過ごす時間を多くとることができます。

また、家庭と仕事の両立を考えたとき、保育所は充実しており、環境が整っています。仕事が終わった後は、保育所に子供を迎えに行き、子供と一緒に食事をしながらその日あった出来事など、たくさん話してください。

⑥世帯主の片道通勤時間



⑥H25住宅・土地統計調査（総務）

⑦有業者の平日の帰宅時間



⑦H28社会生活基本調査（総務）

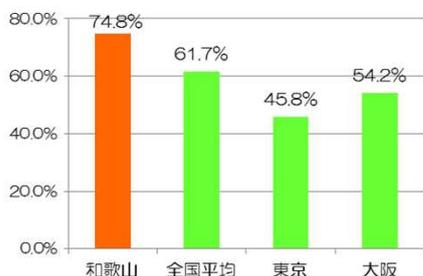
⑧待機児童 [平成30年4月1日時点]



⑧H30厚生労働省記者発表資料 [H30.4.1]

4. 住環境がゆったりとした暮らし

⑨持ち家比率



家族が増え、自分の家を持つことを考えたとき、和歌山では、住宅建築に必要な予算も少なく済むため、自分の家を持つ比率が高くなっています。

また、都市圏と比較して1.5倍程度の大きな家を少ない建築費で建てることができるので、ゆったりとした環境で生活を送ることができます。

	和歌山	全国平均	東京	大阪
⑩ 1㎡あたり住宅地平均価格	35,400円	51,072円	354,600円	149,200円
⑪ 土地付住宅建築費	3,778万円	3,782万円	5,592万円	4,264万円
⑫ 持ち家1住宅当たりの延べ面積	128.8㎡	122.3㎡	90.7㎡	101.6㎡

⑨H25住宅・土地統計調査（総務省）、⑩H30都道府県地価調査（国土交通省）

⑪H29独立行政法人住宅金融支援機構調査、⑫H25住宅・土地統計調査（総務省）

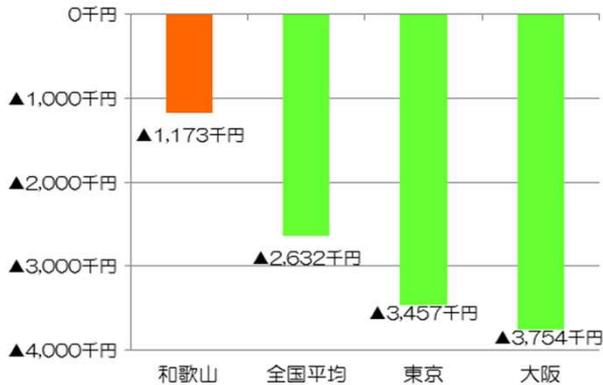
5. ゆとりのある豊かな暮らし

各年代における金融資産（貯蓄－負債）を比較したとき、住居に係る費用が少ないほど、負債が少なく、その分、金融資産が多くなっています。

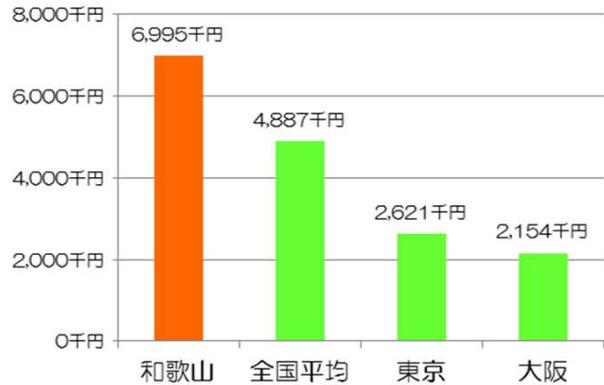
和歌山でゆとりある生活を送ってください。

⑬各年代での金融資産（貯蓄・負債）

[35～44歳]



[45～54歳] 負債が減少し資産が増加



[55～64歳] 全国平均より多い資産



⑬H26全国消費実態調査（総務省）

6. 余暇を楽しむ暮らし

和歌山県民がスポーツや娯楽にかかる平均行動日数は、全国平均より多く、テニスコートをはじめとするたくさんのスポーツ施設があります。スポーツで健康的な汗をかくたり、伝統的建造物を訪れて文化的な知識を深める等趣味の時間を満喫してください。

⑭スポーツの平均行動日数／年 （21種類の平均により算出）

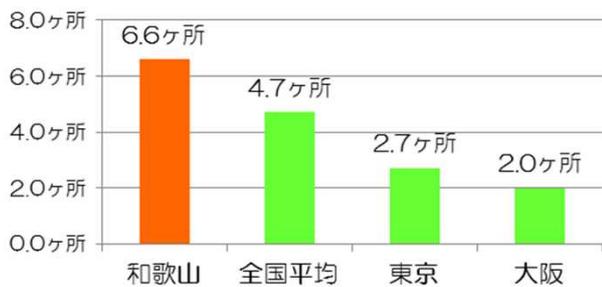


⑮趣味・娯楽の平均行動日数／年

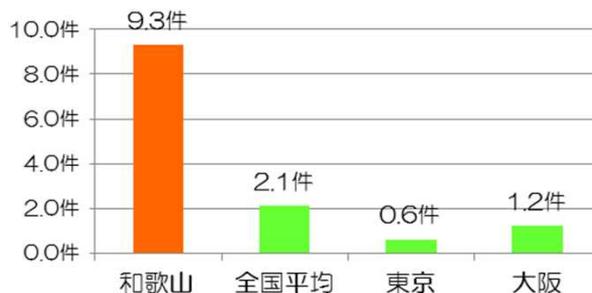


⑭⑮H28社会生活基本調査（総務省）

⑯人口10万人当たりのテニス場数



⑰人口10万人当たりの国指定重要文化財（国宝含む）建造物



⑯H27社会教育調査（文部科学省）

⑰文化財指定等の件数（文化庁）[H30.10.1]

7. 安全・安心な暮らし

最後に、和歌山での暮らしは安心と安全が確保されていることを示したデータを紹介します。

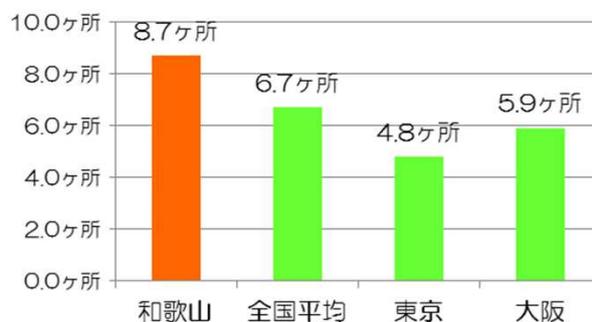
まず、私たちの健康面を守る医療体制については、10万人当たりの医師数や病院数が、全国平均より多く、安心の医療体制が整っています。

次に、私たちの身の回りの安全面についても、刑法犯の減少率を見たとき、ピーク時と比較した場合、75.6%に減少しており、安全な暮らしも確保されています。

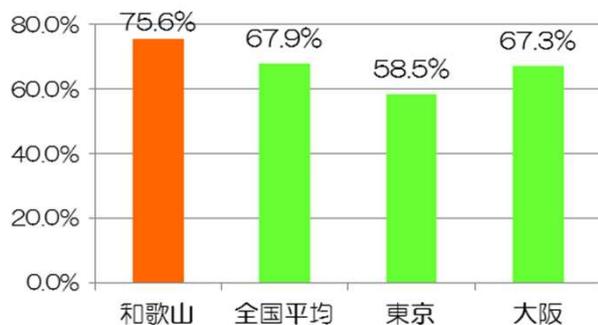
⑱人口10万人当たりの医師数



⑲人口10万人当たりの病院数



⑳刑法犯罪の減少率（ピーク時とH29の比較）



⑱H28医師・歯科医師・薬剤師調査（厚生労働省）

⑲H28医療施設調査（厚生労働省）

⑳H30警察白書（警察庁）